

玄関ドア(枠)

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- ドア本体に錠セットを取付けて、枠に吊込んだ後はラッチボルトを掛けて躯体に固定してください。又、枠ごと運ぶ場合はラッチボルト、およびデッドボルトを掛けてください。錠セットを取付ける前に枠に吊込むとドアが勝手に開き、ケガをするおそれがあります。
- 建付け調整のとき、丁番取付けねじを全部外さないでください。ドア本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。
- 丁番取付けねじ、および丁番裏板取付けねじは増締めをして締付けてください。締付けがゆるいとドア本体脱落の原因となります。(締付けトルクは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ })
- 枠周りの漏水防止のため下記事項をお守りください。
 - ・指定個所にはシーリング処理をしてください。
 - ・シーリング個所にはコーキング材専用のプライマーを使用してください。(別途)
 - ・コーキング材は、1成分系変性シリコンを使用してください。(別途)
 - (ALC外壁の場合は、専用のポリウレタン系シーリング材を必ず使用してください。(別途))

■取付け上のお願

- 枠の取付けは、必ず指定の取付けねじを指定の本数使用して取付けてください。
- 化粧額縁は、下枠下端より70mm又は100mm出ますので、現場の納まりに合わせて切断してください。
- 本製品は土間納まり専用の商品です。土間以外の納まりに使用する場合は、下枠部の防水施工を行ってください。
- 参考納まり図を参照して、事前に上枠カバー取付けしろを確保してください。

■使用ねじ・部品一覧表

①	㊦	㊨	㊩
皿木ねじ φ3.8×45	ナベタッピンねじ φ4×25	スクリュー釘 φ2.1×25	皿木ねじφ3.5×20 ※アングル付枠のみ同梱

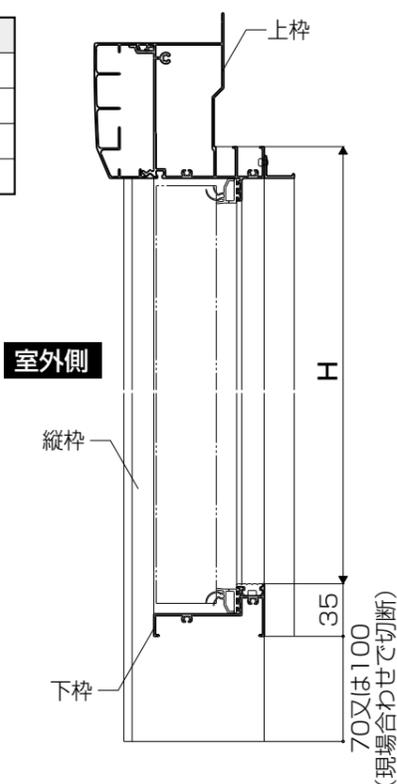
■取付け順序

1 開口部の確認

- ①開口寸法(H・W)は、下表(製品基本寸法)をもとに確認してください。
- ②下げ振り等で前後・左右のくろいや、柱のねじれなどを正しく調整し、水準器でまぐさの水平を出してください。

■製品基本寸法

	タイプ	開口寸法
H23	ランマなし	2330
W	片開き	924
	親子	1240
	両開き	1692

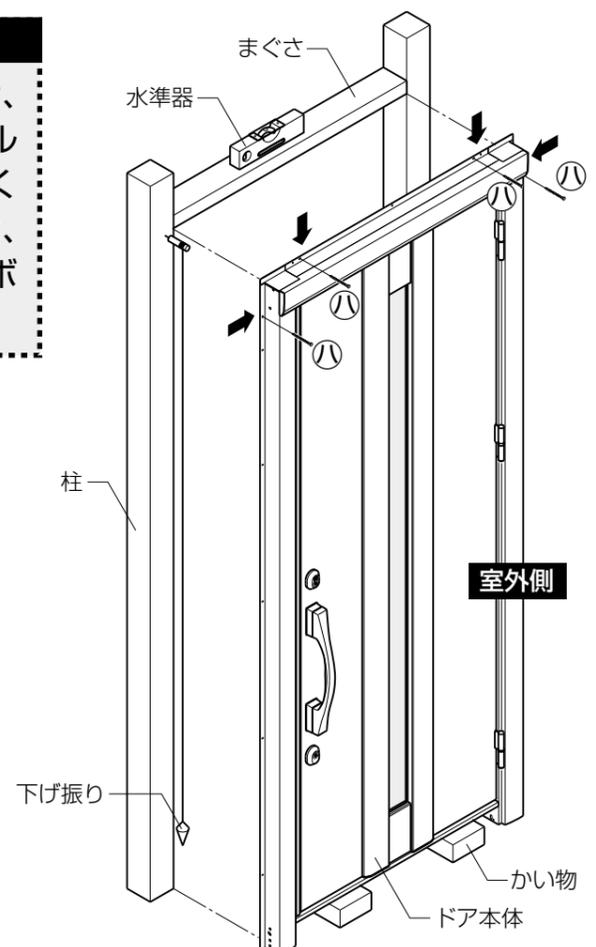


2 枠の仮止め

- ※図中の記号は、取付けねじの種類を表します。
- ①扉を枠に吊込み、一体にして開口部に仮止めします。
- ※(➡)の位置に仮止め用の釘穴(長穴)があります。

▲注意

- ドア本体に錠セットを取付け、枠に吊込んだ後はラッチボルトを掛けて躯体に固定してください。又、枠ごと運ぶ場合は、ラッチボルトおよびデッドボルトを掛けてください。

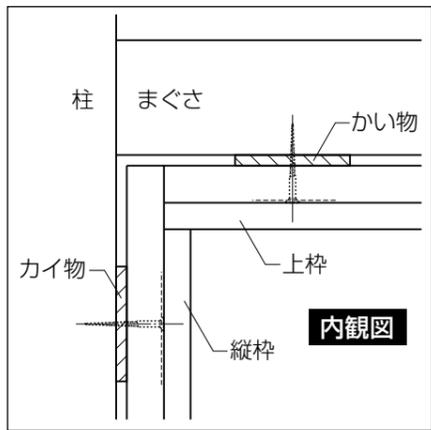


3 躯体への取付けとすき間(チリ)の調整

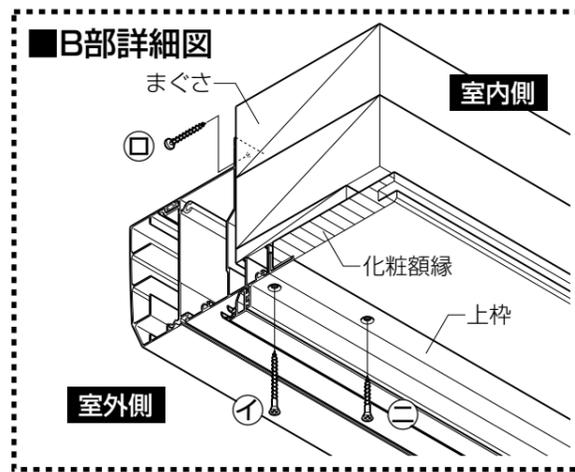
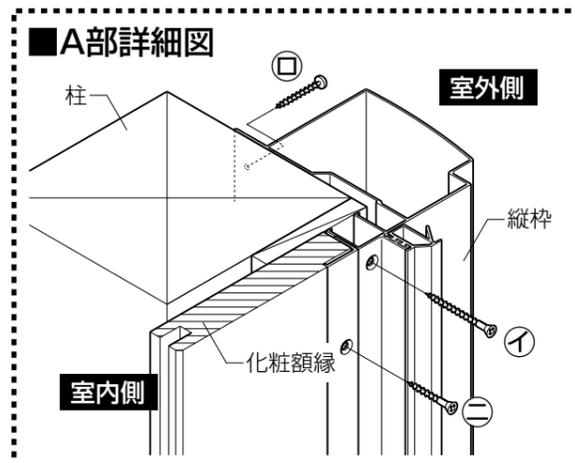
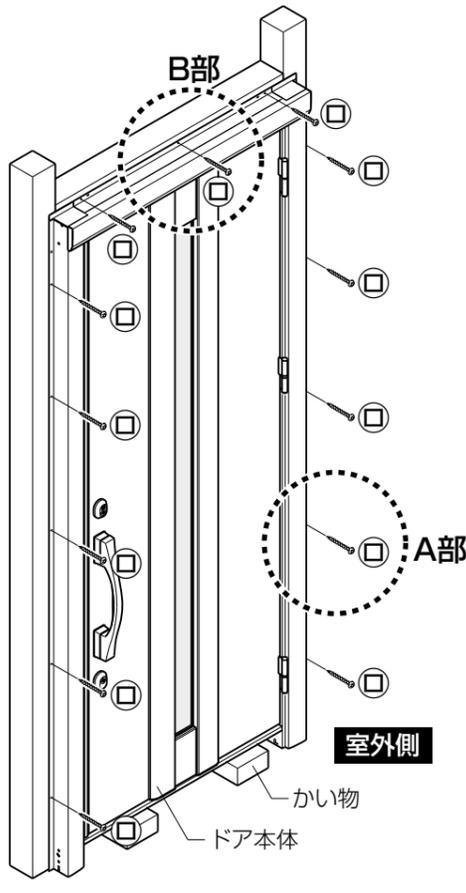
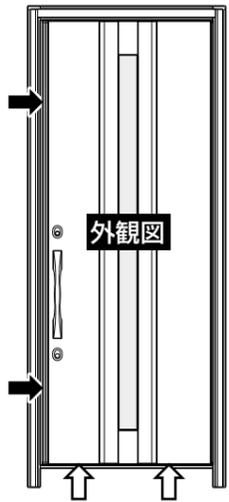
- ①上下(⇄)および、左右(⇄)のすき間を均等にし、戸当り気密材が密着するように枠のねじれ・コロビを調整します。
- ②枠と躯体とのすき間には、かい物を当てて、固定してください。
※かい物を当てずに固定すると、枠のゆがみやねじれを生じますのでご注意ください。

■コンクリート納まりの場合

- アンカーは別売りを使用します。取付け説明書は、アンカーセットの中に同梱してあります。



■チリの調整



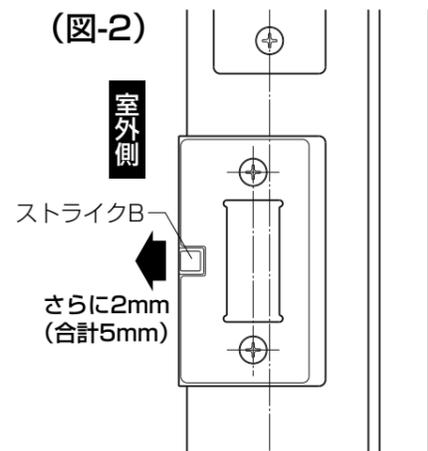
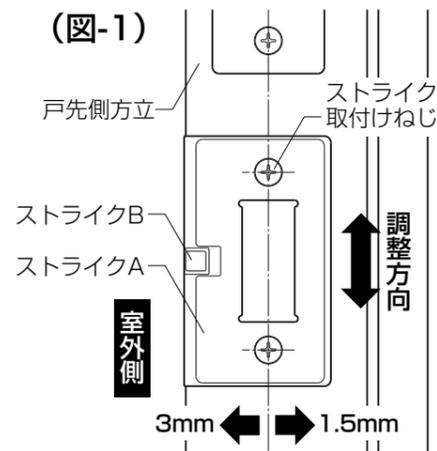
4 ストライクの調整

- ドアロックのラッチがかからない場合やガタつきがある場合は、下図を参考にストライクの取付けねじをゆるめ、ストライクA・Bの位置を調整してください。

- ①ストライク取付けねじをゆるめ、ストライクA(表板)を動かして調整してください。(図-1)室外側に3mm、室内側に1.5mm動きます。
- ②ストライクAで調整しきれない場合は、ストライクA・B(表板+裏板)ごと動かして調整してください。(図-2)さらに室外側へ2mm動きます。(合計5mm動きます)

お願い

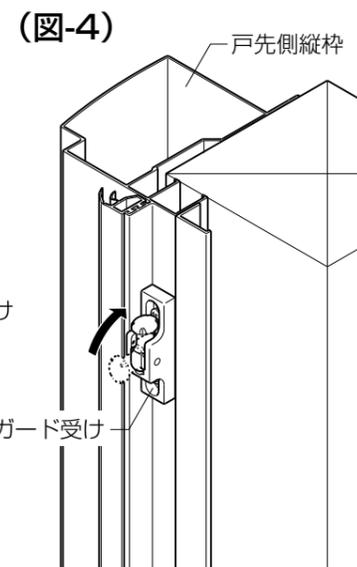
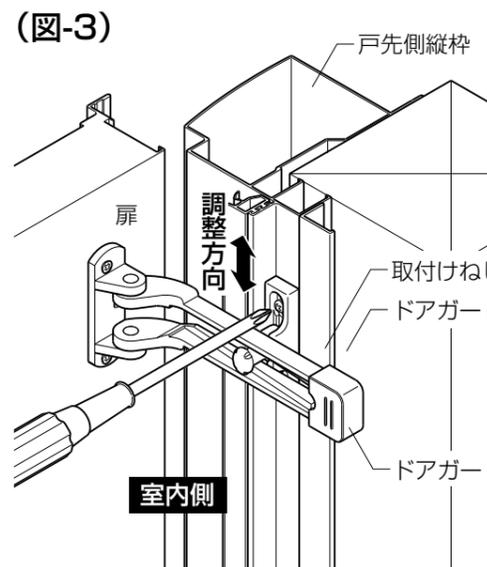
- ※ストライク取付けねじを全部外さないでください。トロコケが脱落し、取付けられなくなります。



5 ドアガードの調整

- ※ドアガードが受けに掛らない場合は、受けの取付けねじをゆるめ、位置を調整してください。(本体側のドアガードは調整できません。)

- ドアガードアームがスムーズに操作できるか、確認してから本固定してください。(図-3)
- ドアガードを使用しない場合は、受けの突起を収納してください。(図-4)



■建付け調整

- ※ドア本体(又は子扉)を吊込んだ後、枠と本体(又は子扉)のすき間が納まり図通りになっているか確認してください。すき間が納まり図通りになっていない場合は、以下の手順ですき間を調整してください。(納まりは、「■参考収まり図」を参照してください。)

1 左右方向のすき間の調整

- ※スペーサーは、あらかじめ本体に取付けてあります。

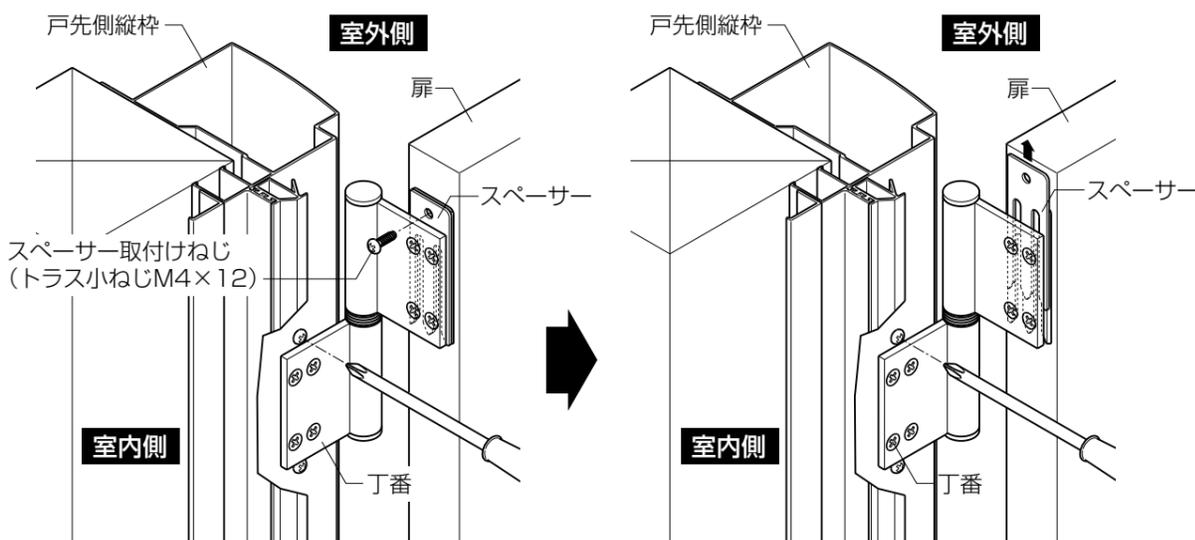
- ①スペーサー取付けねじを外します。
- ②丁番取付けねじ(4本)をゆるめます。
- ③スペーサーを引抜いて外します。
- ④丁番ねじを締付けます。

- ※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mmドア本体が吊元側へ寄ります。

- ※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。

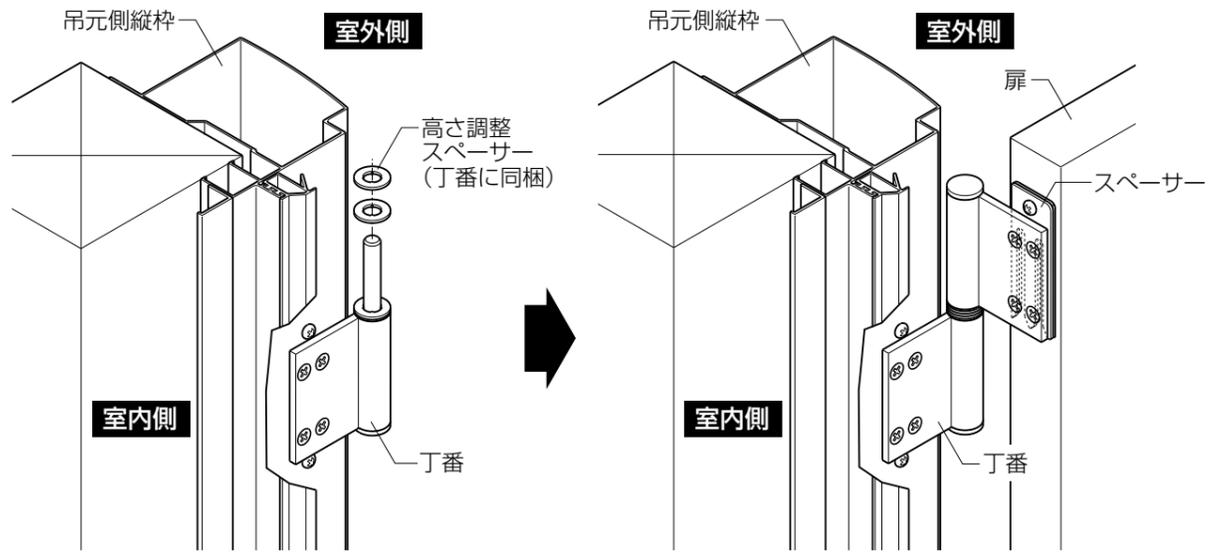
▲注意

- 丁番取付けねじを全部外さないでください。



2 上下方向のすき間の調整

- ドアを枠から外し、丁番の軸に付属の高さ調整スペーサー(丁番に同梱)を入れます。
- ※ 1枚入れると1.5mm、2枚入れると3mmドアが上に上がります。



3 前後(室内・室外側)方向の調整

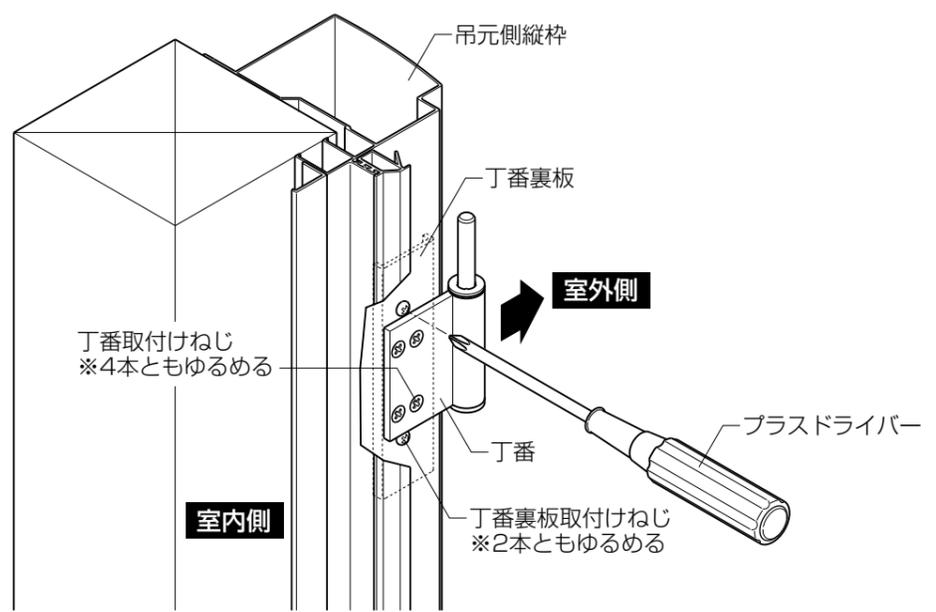
- ① ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ(4本)と丁番裏板取付けねじ(2本)をゆるめます。

●お願い●
※取付けねじを全部外さないでください。
丁番裏板が脱落し、取付けられなくなります。

- ② 丁番裏板ごと前に出すと室外側に1.5mm、後にずらすと-1.5mmまでドア本体が動きます。
- ③ ①でゆるめた丁番取付けねじと、丁番裏板取付けねじを締付けます。

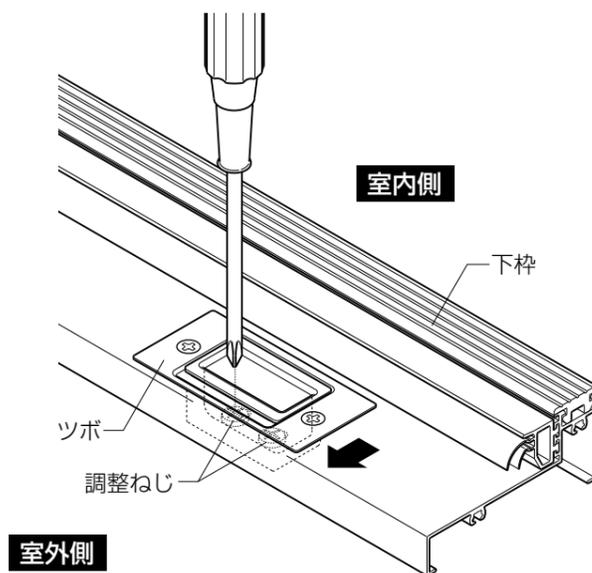
▲注意

- 丁番取付けねじ、および丁番裏板取付けねじは増締めをして締付けてください。(締付けトルクは、 $2.5\text{N} \cdot \text{m}$ { $25\text{kgf} \cdot \text{cm}$ })



4 子扉の前後方向の調整(親子・両開きドアの場合)

- ① 子扉を開けます。
- ② ツボ内部の調整ねじをゆるめ、位置を調整してください。室外側に3.5mmまで子扉が動きます。
※ 上枠・下枠共に調整できます。
※ 下枠のツボの中に砂などがたまった場合は、清掃してください。
- ③ ②でゆるめたツボ内部の調整ねじを締付けます。



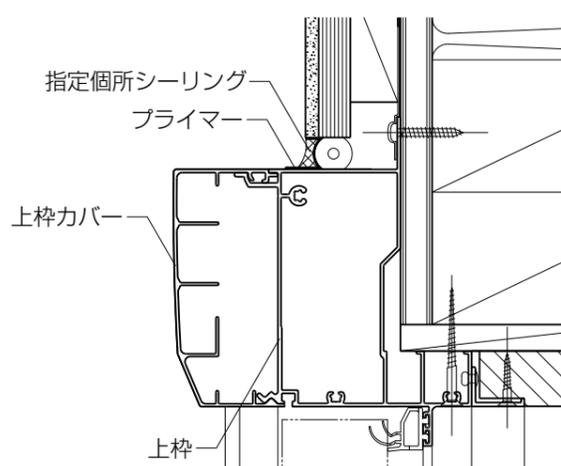
■ 枠周りと壁のシーリング処理

- 枠周りの漏水防止のため、シーリング処理をします。

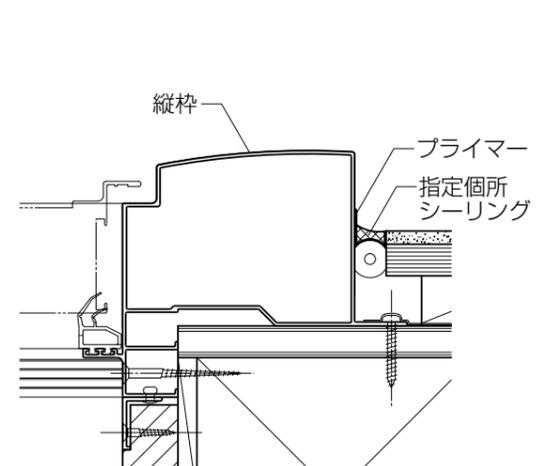
▲注意

- 指定箇所にはシーリング処理をしてください。
- シーリング箇所にはコーキング材専用のプライマーを使用してください。(別途)
- コーキング材は、1成分系変性シリコンを使用してください。(別途)(ALC外壁の場合は、専用のポリウレタン系シーリング材を必ず使用してください。(別途))

【上枠断面詳細図】

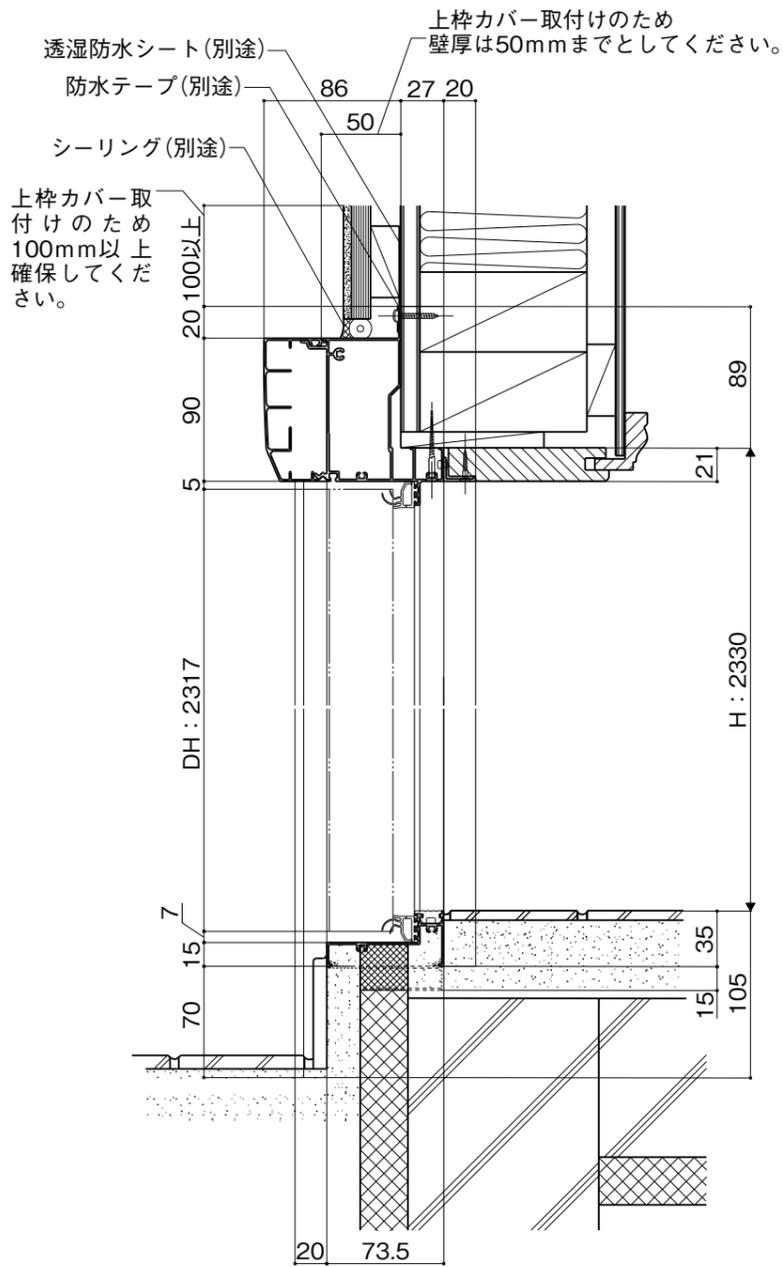


【縦枠断面詳細図】



参考納まり図

縦断面図(片開きk4仕様例)



横断面図(片開きk4仕様例)

